

2007 年度海外留学プログラム 参加者アンケート

このアンケートに記載された情報は衣笠国際センター・BKC国際センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考にします。

また、前半4ページは、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム： 国際インスティテュート海外スタディ 派遣先大学/機関 ベクショー大学

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

氏名： _____ 経営 _____ 学部/研究科 環境・デザインインスティテュート

E-mail： _____ 2 回生 男・女

* 以下、回答は、該当するものに 印をつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

内容・レベル、使用教材、テストについて：

講義はスウェーデンも政治体制や福祉政策、環境、移民問題などについてでした。先生によっては聞き取るのが難しいときもありました。全てをきちんと理解するのは難しいかもしれませんが、理解しようという気持ちで講義に臨めば大丈夫です。わからないところは質問したり、後で本やインターネットで調べて補いました。またレジュメを用意してくださる先生もいました。スウェーデン語の授業は実際にすぐ使える簡単なものを教えてくれたので勉強するのがとても楽しかったです。最後にスウェーデン語のテストがありました。

クラス数と受講人数（クラス分け方法） 本学以外の学生の参加：

26人全員で授業を受けました。丁度よかったです。フィールドトリップなどは二組に分かれて説明をしてくださることもあり、質問もしやすかったです。

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

ある程度の福祉や環境に関する専門的な英単語や、スウェーデンの歴史的背景をふまえた上で講義をうけたほうが、よりたくさんのが吸収できるため、自分のためになると思います。

現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ：スウェーデンの障害者の方の労働環境、国の支援など

事前準備・現地でのリサーチ方法：

事前準備は特にしませんでした。実際にベクショーの町にある軽度の障害者のかたが働く施設を訪問しました。

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

実際に現場に訪れ、お話を聞かせてもらうことで、ただ講義を聴くだけでは感じることはできないことを学びました。その人が持っている最大限の能力を発揮できる職場を提供する仕組みがスウェーデンでは整っていました。

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について

市庁舎、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、環境教育を行っている幼稚園、発電や地域暖房の工場、小学校、ガラス工場

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス（携行品等）:

一ヶ月の間でたくさんの場所を訪れました。行く前にはあまり興味がないと思っていた分野の訪問先からも発見や驚きがありました。どの訪問先の皆さんも暖かく迎えてくださり、親切かつ丁寧に説明してくださいました。

またお世話して下さった現地の大学の先生が私たちの要望をたくさん聞いて、訪問のアポをとってくださり、行きたいところは時間が許す限りプログラムに組み込んでくださいました。

訪問の際にはメモをとりやすくするためバインダーなどを持っていくと便利です。また再度見られるようにビデオなどを用意することができたらよりいっそうためになると思います。

3. 現地の環境について

現地キャンパスについて

自習環境について

大学構内や図書館に勉強する場所は十分にありました。夏休み期間なので現地学生が少なかったため混むこともありませんでした。

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス:

図書館にはたくさんの蔵書があったので、時間がもっとあればもっとゆっくり見たかったです。

住居について（当てはまるものに○）

- ・寮 or ホームステイ or その他（ ）
- ・食事は? : 自炊 or 食堂 or 外食 or その他（ ）
- ・食費は? : プラザ費用に含む（食） or 別途実費負担

- ・寝室は? : a. 1人部屋 b. 相部屋（名でシェア ルームは 立命館生 or 現地学生 or その他）
- ・共有施設は? : a. キッチン b. トイレ c. シャワー d. 無し（すべて自分ルーム専用）
- ・洗濯は? : ランドリー 有 or 無 洗濯機の使用 可 or 不可 or 洗濯してくれた
- ・家族構成 or 寮の住人の構成は? :

夏期休講中だったので寮にはあまり人がいなかったのわかりません。

寮 or ホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス:

とてもキレイで部屋も広く住みやすかったです。部屋を貸してくれた寮の住人になにか日本のお土産など持っていきいもいいかもしれません。

<2 箇所以上に滞在した場合は、上欄と同じ内容を他の箇所について記入>

パソコン・インターネット環境について（当てはまるものに ）

- ・パソコン利用場所は？： 大学（約40台あり） or ホームステイ先・寮 or その他（ ）
- ・ノートパソコンを日本から持参しましたか？： 持参した or 持参しなかった
- ・インターネットへのアクセスは？： 自室から可能 or 一定の場所から可能（ ） or 不可能
- ・日本語ソフトは？： 読める or 入力できる or 読み・入力ともに可能 or どちらも不可能

その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス：

パソコンは大学で24時間使用可能なので、全員が日本からもっていく必要はないですが、参加者のうち少なくとも一人は持っていったら役立つと思います。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容：BBQ、ザリガニパーティー、お別れパーティー、卒業セレモニー

次年度参加者へのアドバイス（あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など）：

ある程度フォーマルな服は一着用意していったほうが良いと思います。現地で買っている人もいました。

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

スウェーデン語、スウェーデンの国の全体像

事前に学習しておけばよかったと思うこと

福祉や環境に関する英語

6. その他

今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか？

約 8万 円 または 現地通貨で 4000SEK くらい

持参したお金： 10万 円相当（ 十分だった or 不十分だった）

主にお金はどのように持参しましたか？（複数回答可）

a. 現金 b. トラベラーズチェック c. クレジットカードを利用 d. 国際キャッシュカードを利用

e. その他（ ）

お金・現地物価についてのコメント

やはり多少物価は高いです。しかしスーパーなどで買える食料品はそこまで高くありません。自炊すれば節約できます。外食は高いです。

持参したほうが良いもの、不要なものがあれば教えてください。

必要なもの

カメラ、虫除けスプレー、洗剤、スリッパ

不必要なもの

パソコン(あったら便利だが重いのでなくてもよい)、服は少なめにすることをすすめます。

実際にプログラムを体験しての全体の感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

あっという間の一ヶ月でした。毎日が濃密で楽しくてしかたなかったです。日本にいては決して得ることのできない経験ができたと思います。時間的にはたったの一ヶ月かもしれないけれど、私にとっては、その何倍もの価値がありました。

行く前は漠然としたスウェーデンへの憧れがあって、このプログラムに惹かれました。北欧デザインが好きだったことや環境先進国であるスウェーデンにとっても魅力を感じていたのも理由です。実際に行ってみて、今までしらなかったスウェーデンの他の一面も知ることができました。日本との違いも認識できました。スウェーデンを知ることで日本について再度考え、知る機会にもなったと思います。憧れの部分だけじゃないスウェーデンの本当の姿もすこしは掴めたような気がしています。そしてもっとスウェーデンのことを学びたいとも思ったし、本当の意味で好きになれました。

スウェーデンへの留学のプログラムは他にはなかなかないものです。これからの日本を考えたとき、スウェーデンから学ぶことはたくさんあると思います。是非私はこのプログラムをたとえ環境や福祉に興味がない人にもおすすめします。

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話してもらうなど)をお願いする際、協力をお願いしますか。

協力してもよい 協力できない

7. 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。写真をこのページに添付するか、データを持参して衣笠国際センター・BKC国際センター窓口に出してください。



環境教育を熱心に取り組んでいる幼稚園にて



ベクショー大学



講義を受けた教室

ご協力ありがとうございました。 記入済みアンケート用紙は、**2007年9月28日(金)まで**に、衣笠国際センター・BKC国際センター窓口の専用回収箱に入れてください。

立命館大学衣笠国際センター・BKC国際センター